

電通国際情報サービス

ERPクラウド
導入期間を短縮

電通国際情報サービスは、独SAPの統合業務パッケージ（ERP）を核とした基幹業務向けクラウドコンピューティング型サービスの導入支援メニューを構築した。必要な作業を標準化し、通常1年ほどかかる導入期間を3カ月に短縮した。SAPの承認を受けたサービスとして海外での提供にも対応し、今後3年間で40社の採用を目指す。

作業標準化 海外も対応

SAPのERP導入パッケージ「オールインワン」に電通国際情報サービス独自のサービスを組み込んだ「ビジネス・アクトセル」の導入支援メニューを提供する。対象となる機能を財務会計と管理会計に限定し、利用環境の準備から運用の模擬試験、トレーニングと移行支援を3カ月で実施する。

採用。多言語、多通貨、国際会計基準（IFRS）に対応できる。システムが立ち上がった後の1カ月の稼働支援も含め、約1000万円

の固定価格で提供する。月額利用料金は約1万5000円から。SAPのERPを導入済みの企業の海外拠点向けや、初期投資を抑えたERPを導入を検討する中堅企業などに提案する。要望に応じてワークフローやデータ分析・活用（BI）など専用の追加機能も提供する。

クラウド基盤には米アマゾンウェブサービスを